

【様式第 4 号】

令和 8 年度 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 まちで暮らすネットワーク部会 強度行動障害ワーキンググループ 第 3 回 議事録【HP 用】	
日 時	令和 8 年 8 月 1 3 日（木）1 6：3 0～1 8：0 0
開催場所	ほどがや地域活動ホームゆめ 2 F ボランティアルーム
出 席 者	恵和青年寮、十愛病院、夢 2 1 ホーム、あさぞら、基幹相談 2 名、保土ヶ谷区役所（高齢障害）、たちほどがや
欠 席 者	同愛会/てらん広場
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ <u>（非公開）</u>
議 題	<u>資料</u> ・強度行動障害ワーキンググループ 実施計画書（案） <u>1）保土ヶ谷版・人材育成プログラム「継続型実践ベースの事例検討会」</u> ○「<u>継続型実践ベースの事例検討会</u>」計画案について ※確認のみ <u>目的</u> 強度行動障害を持つ人への支援について、事業所間のネットワークを強化し、地域全体で支える基盤を構築する。 ★<u>冰山モデルを用い、一人の事例を年間で追うことで、本人理解と支援の組み立てを深めるのが研修の目標。</u> ★<u>ベースとして「特性配慮が必要である」ということを、参加者全体で体感できる形にする。</u> <u>運営方針</u> ① 事務局によるマネジメントを基本とし、事例検討、施設見学、ネットワーク強化を行う。 ② 支援手法を限定せず、多様な取り組みを共有し合う場づくりを目指す。 <u>（2）保土ヶ谷版・人材育成プログラム</u> <u>「継続型実践ベースの事例検討会」検討事項、準備することの整理</u> （2－1） 事例検討会の実施方法について（再検討） <u>【恵和からの提案】 8 月 1 0 日発信</u> ・今年度、どこまで取り組むかを検討したほうが良いのではないかと、 ・すでに 8 月なので、下半期に実施するにしても、あまり大きな企画にすると、実働メンバーが少ないので、回しきれない心配がある ・（1 案）今年度は座学研修のみ行う（2 案）3 回シリーズを 2 回に減らす

【基幹相談からの提案】 8月10日発信

- ・事例について、その事例に関わる支援チームのカンファレンスやモニタリング会議等に、研修受講者や強行ワーキングチームがオブザーバーとして参加し、現場での議論を通じて、学びを深める
→この場合、日程調整のみで実施できるメリットあり

- ・各提案者からプレゼンした上で、大枠の進め方を検討した。
以下、まとめた内容

全体的な方針として、今年度は座学1回、ワーク1回の2回シリーズで構成。
本当は連続講座が望ましいが、初めての試みなので、現実的なプランに変更する。

◎第1回 氷山モデル 座学（講師；あさぞら）

※経験値はあるが、構造化の実践経験のほとんどない人たち向けの研修。

どこから手を付けたらいいかわからないという日中事業所の支援員に向け、
強行研修（基礎）は受講済だが、現場での実践が無い（少ない）人を想定

※支援の視点とツールを伝えていく。

※特性をしっかりと伝えて、氷山モデルの説明、環境と状況の関係など

11月実施 会場：ゆめ2F食堂（11月19日、20日＝講師 別予定あり）
18時～20時 11月2日（月） 【第1回】

◎第2回

- ・カンファレンス、アセスメント取っている場面を見学する？
- ・目的「本人が見通しをつけられるようにするには」
- ・平時のご本人の場面は、動画で視聴 でもよいのではないかな
（行動援護の場面でもよい。エラーが起きている場面、起きていない場面）
- ・検査、アセスメントから見ていくのでも良いのでは？

12月2日（1週目）18時～20時 ゆめ食堂 【第2回】

※（あさぞら）、（恵和）で第1回、第2回の内容を詰める

※10月8日の次回、強行ワーキングにて、実施の内容確認と検討をして、
潰瘍を固め、募集を開始する

◎強行ワーキングの定例会議は、予定通りおこなう

次回：10月8日（木）16時半～ ：地活ゆめ2Fボラールーム

次々回：12月10日（木）16時半～ ：地活ゆめ2Fボラールーム

強行ワーキングの定例会議（10月8日、12月10日）では、「継続的实践ベースの事例検討会」の実施準備や振り返りを中心に行う。

（3）取り上げるモデルケースの検討 ※3つの案の詳細は別紙で各自説明した。

A案＝あさぞら事例（構造化の今まで入っていない発達障害ケース）

B案＝ゆめ事例（知的ベースだが、出ている症状は双極性障害のケース）

C案＝夢 21 事例（こじれていない、ザ・自閉症。決まった行動でないと動けないタイプで、たまに大パニックを起こす。修正が効かない。重度訪問介護を利用）※朝食事に行けないのを解決するための支援（一場面を切り取ってモデルケースにしたらどうか）

（検討結果）

- ・構造化に触れたことがない支援員に見てもらいたい → 分かりやすさは重要
- ・あさぞらのケースが分かりやすいのでは？

本人から言語の発信がないので、本人の意向がわかりづらい。シンボルの提示をして問題行動の軽減を図れたらよいが・・・

・あさぞらのケースと夢 21 の 2 ケースを今年度は取り上げる（決定）

（4）事例検討会の配布資料や準備について

＊事例検討用資料

＊次第

＊参加者名簿 など

＊会場の準備

＊準備の役割分担 10月8日のワーキング会議で決める

※11月2日、12月2日の会場予約は、基幹相談でおこなう。

（ゆめ食堂であれば、スペースの余裕あり）

（5）PR、声掛けについて

- ・自立支援協議会ホームページに、研修の告知を掲載。
- ・チラシ作成

- ・ 関心のありそうな職員・関係者へ一本釣りで個別に声掛け。

(6) 役割分担 ※今回のワーキングでは決めなかった

項 目	担当者	いつまでに/備考
①モデルケース事業所との調整		
②会場予約		
③プログラム作り		
④当日資料1（ワークシート、座学資料 その他）		※ 事前に参加者へメール？
⑤当日資料2（次第、参加者名簿 その他）		※ 事前に参加者へメール？
⑥当日資料 印刷		開催前日までに
⑦保土ヶ谷自立協HPへPR	基幹相談	※チラシ掲載が可能
⑧自立協インスタへPR	基幹相談	※チラシ掲載が可能
⑨PRチラシ 作成		
⑩参加の呼びかけ	メンバー全員	
⑪申込フォーム作成と管理	基幹相談	Google フォーム
⑫当日会場での役割分担		

(7) 施設見学の調整について

① R8 年 9 月見学会 あさぞら 見学依頼内容の確認、募集について

- ・ 日時: 9 月 16 日 13 時 30 分～ 確定
- ・ 車ででの来場可。駐車場は軽自動車なら 4 台、普通車なら 3 台まで駐車可能。
- ・ GH 住所は、旭区今宿東町 922-2
- ・ 参加者の募集: 今回は参加者を公募する方針。10 人程度で募集予定。
- ・ チラシ案 → 募集定員を追加する
- ・ 声掛け
 - ➡ 9 月の「まち暮らし部会」GH意見交換会の告知に合わせて、PRする。
(※区内の全GHに周知予定／まちくら部会のメンバーに頼む)
 - ➡ 「まちで暮らすネットワーク」部会のメンバーには、一斉メール。
 - ➡ その他のPRは、ワーキングメンバー各自で。

② R9年1月見学会について

- ・中井やまゆり園、津久井やまゆり園について見学したい。
- ・夢21ホームで、各施設に連絡調整をおこなう。

★次回ワーキング（定例会議）：令和8年10月8日（木）16:30～18:00

場所： 地域活動ホームゆめ 2Fボランティアルーム

★「継続型実践ベースの事例検討会」；第1回予定

令和8年11月2日（月）18:00～20:00

場所：ほどがや地域かつ同ホームゆめ 2Fボラルーム（予約済み）